

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-1	
PTA(学校)名	愛知県立桃陵高等学校		部門No.	2(ノンジャンル)
活動テーマ	「PTA研修会 ～保護者・生徒・教職員が互いに学びつなげるPTA活動を目指して～」			
キーワード	互いに学び楽しくつなげる	保護者、生徒、職員交流	パステルアートを学び桃華祭に展示	
開催日	①PTA研修会開催日：8月7日(月) ②桃華祭(文化祭)PTA企画開催日：令和5年9月15日(金)			
場所	①PTA研修会：会議室 ②桃華祭(文化祭)：3階ピロティ・音楽室			
時間	①PTA研修会：午前10時～正午 ②桃華祭当日午前10時～11月中旬まで			
参加者	PTA・職員・生徒の総数26名(親子参加5組)			
趣旨	1) 創作活動を通してPTA間で交流を図り、互いの芸術的感性に触れながら、互いに学び楽しくつなげるPTA活動を目指す。 2) 親子の参加を募り、保護者と生徒のコミュニケーションの機会とする。 3) 桃華祭PTA企画の催事の一つとして創作した作品を展示し、親しむことができる。 ※フотスポッ、昨年より継続している「SDGs活動に参加して輪投げ券ゲット ー令和5年度部門1の会長賞ー」の会場エリアに作品を展示しPTA研修内容を紹介することで、今後のPTA活動の活性化につなげる。			
活動ポイント	・保護者、生徒、教職員のグループ班をつくり、講師の助言を受けながら、パステルアートを創作する楽しさを分かち合い共有する。 ・創作活動の中で交流し、学び合い、楽しくつなげる研修活動にする。			
主体委員会名・講師名等	愛知県立桃陵高等学校PTA 講師名：パステル和(NAGOMI)アート パステルシャインアートインストラクター 小倉光子 氏			

- 1 概要**
- 今年度は体験型の研修で、学ぶ楽しさをテーマとした研修内容とし、PTA役員から複数研修内の提案を募る。
 - 提案された研修内容は、PTA役員で精選し決定する。
 - PTA役員(紹介者)と学校で研修の進め方について打ち合わせし、講師に依頼する。
※打ち合わせは、PTA役員が担当(講師依頼：学校総務部)
 - PTAに案内文書を配布し参加を募る。(親子参加希望者も募る)
 - 職員にも参加案内をする。
 - パステルアートの創作活動を行う少人数グループを編成する。(4人班×6班)
※職員は、学年所属、教科担当を考慮し、保護者・生徒(親子は同席・教職員をバランス良くグループ編成し、互いに交流できる機会とする)
 - パステルアートは、グループ毎に寒色系、暖色系に分かれ、互いの作品に触れながら、コミュニケーションを図りながら主体的に取り組む。(講師は、創作の手順、ポイント、手技、構成等を実物投影機や個別指導でサポート)
 - 当日創作した作品(パステルアート)は、桃華祭PTA催事のフотスポッ会場に掲示し、親しんでもらう。

2 開催までの日程・活動内容

日程	活動内容	担当者
4月	・PTA会長およびPTA研修の担当役員よりPTAクラス役員に研修内容の提案を募る。 ・PTAで、研修内容を決定する。	PTA会長・PTA役員(係)
6月7日(水)	・PTA役員(講師紹介者)と研修方法の打ち合わせ	PTA役員・総務主任
7月	・講師依頼 ・実施要項の提示および参加者募集 ・グループ編成(PTA、生徒、教員が交流できるように6班平成でテーブル配置)	総務主任
8月7日(月)	・PTA研修会開催(講師紹介、PTA会長挨拶、学校長挨拶、創作・御礼の言葉)	PTA役員・総務部
9月14日(木)	・桃華祭(文化祭)準備：フотスポッ会場作成時にパステルアート作品を展示(SDGs活動開催場所につながるピロティ)	PTA役員
9月15日(金)	・桃華祭(文化祭)当日：PTA企画であるSDGs会場で、作品を見たりフотスポッとして親しんでもらう。	

3 桃華祭PTA企画開催当日：9月15日(金)

開催時間	展示場所	開催状況
10時～13:30	・本館3階ピロティ(SDGs活動当日受付・フотスポッにパステルアートの展示)	・フотスポッ・SDGs・輪投げ会場(フードバンク・使い捨てコンタクトレンズ空ケース回収)および輪投げ開催に、約320人の参加があり。 ・蝶々で虹が描かれているフотスポッには、生徒、PTA、教職員の「私の推し」が書かれている。同じエリアにパステルアートを展示 ・フードバンク：段ボール14箱を大府市社会福祉協議会に提出

4 PTA研修会当日の活動状況

5 桃華祭(文化祭)のフотスポッに展示

6 保護者・生徒・教員からの感想

保護者

★誰でも簡単に絵を描ける喜びや、皆で仕上げた作品を「どれも素敵！」と認め合う楽しさ、そこから生まれる豊かな心の交流や繋がり・絆を保護者、先生、生徒と一緒に体験することができました。
★普段の生活では味わえない心地良い集中力を体験し、描き終える頃には、自然と癒されている自分がありました。
★保護者の皆様や先生方とパステル研修会をきっかけにお話する事ができ、次の高校行事が楽しみになりました。

参加生徒

★母と一緒に何かするということがなかったため、新鮮で楽しい時間が過ごせました。また先生の新たな一面がみれて嬉しかったです。
★同じテーブルの方たちと、コミュニケーションをとりながら行うことができたので、始終楽しんで作品をつくることができました。
★パステルアートに触れることで、その人の作品の表現の仕方を知り、新たなコミュニケーションのきっかけにもなりました。

参加教員

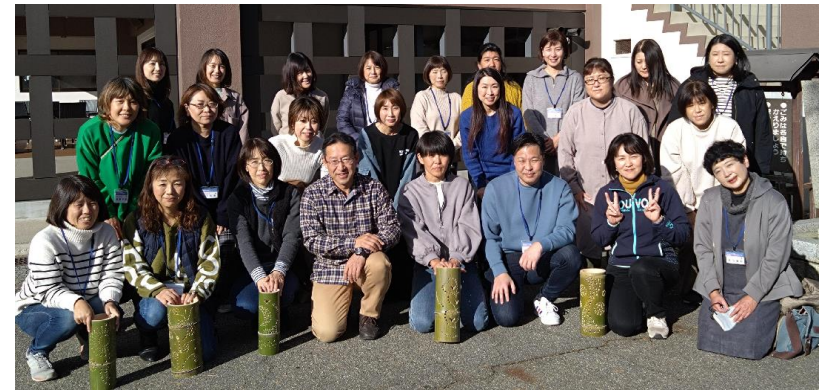
★保護者・生徒と交流しながら、お互いの作品を見せ合い笑いのある楽しい研修になりました。
★親子参加がいるテーブルでは、親子交流の場に教員も一緒に時間を共有し会話が弾みました。

7 まとめ

PTA間で研修内容を募り、体験交流型の『互いに学び楽しく繋がるPTA活動』が行えました。本校は、令和5年度の本事業において会長賞に選ばれ、ますます持続可能な開発目標に向かって、PTA活動が活性化してきていると感じています。今回の研修会では、和やかな空気の中で互いの交流を深め、身近に触れ合うことで自己表現や楽しく協働する研修となりました。そして研修の成果は、昨年度から継続している桃華祭PTA企画にも繋げていくことで、さらに有意義で充実した活動に発展しました。『認め合う楽しさ、そこから生まれる豊かな心の交流や繋がり・絆』、今後も、そんなPTA活動を目指していきたいです。

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-2	
PTA(学校)名	愛知県立三好高等学校		部門No.	2
活動テーマ	PTA研修会			
キーワード	PTA役員	PTA会員	交流	
開催日	令和5年11月14日(火)			
場所	岐阜県高山市			
時間	午前9時から午後5時30分			
参加者	役員4名、会員20名、本校職員1名			
趣旨	本研修会を通して、PTA役員とPTA会員との親睦をはかる			
活動ポイント	PTA役員と、PTA会員とが交流する場が少ない中、研修会を通じて気軽に交流する場となっている。			
主体委員会名・講師名等	愛知県立三好高等学校PTA役員(2年)			
<p>本校におけるPTA研修会は、11月に愛知県とその周辺の県を年度ごとに指定して行先を決定し、2年生のPTA役員が研修の計画を立てて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 令和2,3年度は実施を見合わせ、昨年度から再開した。今回の研修先は岐阜県高山市にある飛騨高山まちの体験交流館において、竹ランプ作りをしたいという2年生役員からの要望を受け、旅行会社の協力のもと、以下の日程での研修会を全校保護者へ案内した。</p> <p><input type="checkbox"/> 9:00学校発-12:00~14:00竹ランプ作り(2班に分かれて実施)-17:30学校着</p> <p><input type="checkbox"/> 参加者は昨年度が役員と会員10名であったが、今年度は24名と大幅に増えた。普段は役員会や委員会の会議に参加される役員の方々の親睦が深まったことでこの行事を開催した意義は大きかった。</p> <p><input type="checkbox"/> また、本校では7月にPTAスポーツ交流会を実施し、この行事と同様、親睦を深める行事を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> これからも、本校独自のPTA行事が継続できるよう計画したい。 <input type="checkbox"/></p>				

高山市内での参加者集合写真



竹ランプ作成中



学校に到着後、校訓碑前にて作品の披露



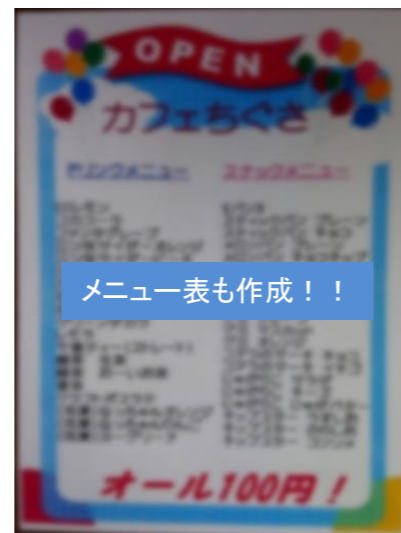
PTA活動紹介		高P連受付番号	2-3
P T A (学校)名	愛知県立千種高等学校	部門No.	2
活 動 テ ー マ	Café ちぐさ		
キ ー ワ ー ド	保護者交流	文化祭支援	ドリンク・軽食販売
開 催 日	令和5年9月9日(土)、10日(日)		
場 所	愛知県立千種高等学校 藤棚付近		
時 間	9時～16時		
参 加 者	PTA役員5名, 理事57名		
趣 旨	コロナ禍以降、文化祭において生徒主体の食品類の販売が見送られる状況が続いている中で、PTAが主体となり、しっかりとした衛生管理のもとドリンクやパン・お菓子などの販売を行った。全校生徒(約1000人)に加え文化祭来場者(保護者, 中学生, 同窓生など2日間で約6000人)を対象に1個100円で販売した。		
活 動 ポ イ ン ト	・取り扱う食品は密封されたもののみとした。 ・生徒の喜ぶ顔を間近で見られる活動で、保護者の方は楽しみながら行っていた。		
主 体 委 員 会 名 ・ 講 師 名 等	愛知県立千種高等学校PTA 特別教育活動委員会		

1 目的

コロナ禍以降、文化祭において生徒による食品販売(食品バザー)が見送られる状況が続いている。そこでドリンクや軽食の販売を徹底した衛生管理のもと行って、生徒や文化祭に来場して下さった方の笑顔を増やしたいという思いで活動を企画した。

2 日程計画

- ・6月 文化祭での活動内容の検討を行う。
- ・7月 販売する商品の種類や数, 仕入れ方法を検討する。
- ・8月3日 当日の参加者の事前打ち合わせ実施。
- ・8月下旬 業者に発注をかけた後, 仕入れたりする。
- ・9月8日 販売場所の清掃や, テント, 机, 椅子等の設置。
- ・9月9日・10日 販売, 片付け



3 コロナ禍を経た変化

コロナ禍以前は紙コップを用いて非密封の飲み物を提供してきたが、コロナ禍を経て扱う品物はペットボトルや袋入りパン, 菓子などすべて密封されたものとした。

4 仕入れについて

物価高騰により仕入れ値が上がり、販売する品物の種類や数について、委員長を中心に相当悩みながら決定した。売値はすべて100円とし、仕入れ値に近い値段に設定した。売り切れにしたいくないという委員会のメンバーの声もあり、例えばペットボトルは2日間で4000本というチャレンジ的な仕入れ数とした。



5 当日の様子

カフェのテント前は生徒や来場者が多く集まり、列を作るほどであった。2日間で仕入れたものは全て完売し、追加仕入れに走る場面もあった。



参加したメンバーも生徒の喜ぶ顔を間近でみられる活動であり、非常にモチベーション高く活動できた。

6 課題

相当な本数のペットボトルを販売したことにより、ごみの処理費用も大きくなった。また、屋外での活動のため、天候の影響を受けやすい。今年度は完売できたものの、来年度以降の規模については慎重に検討を続けていく必要がある。



PTA活動紹介		高P連受付番号	2-4
PTA(学校)名	愛知県立豊明高等学校PTA		部門No.
2(委員会活動)			
活動テーマ	文化祭へのPTA参加(体験講座、食品バザーの実施)		
キーワード	保護者の学校行事参加	生徒との交流	コロナ禍後のPTA活動
開催日	令和5年9月13日(水)		
場所	愛知県立豊明高等学校3K・3L教室、4K教室		
時間	午前9時から午後1時30分(体験受付は午後1時締切)		
参加者	保護者35名、生徒150名程度(体験講座、食品バザー合わせて)		
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍後の、PTA活動を模索する。 ・PTA活動を通して、保護者同士がつながりを持つ。 ・高校生という思春期を迎えた子どもとのコミュニケーションを図る一助とする。 		
活動ポイント	小物づくりを得意とする理事の方を中心に、保護者同士協力して体験講座を開催する。高校生という年代で親と接点を持ちたがらない子どもでも、自分の親以外の大人とは、わだかまりなく接することができることから、保護者も高校生との接点をもつ機会となる。		
主体委員会名・講師名等	PTA広報委員会(食品バザーは、PTA常任理事が主導)		

1 概要
 新型コロナウイルスにより、PTA活動の縮小を余儀なくされ、過去3年間文化祭に保護者は参加できなかったが、今年度ようやく保護者の参観が認められ、昨年度はPTA体験講座出展のみだったものが、4年ぶりに食品バザーも実施することができた。体験講座については、昨年度の反省をもとに当日までの準備も当日の運営も広報委員会を中心にスムーズに進め、昨年度以上の盛況ぶりとなった。
 食品バザーに関しては、4年ぶりの開催ということで手探りの準備であったが、常任理事を中心に協力して準備を進め、チケットも前売りが完売して、当日盛況のうちに終えることができた。

2 準備・開催日程
 4月13日(木)：2年生の広報委員で集まって去年の反省から今年度の体験講座の方向性を決める。
 6月8日(木)：第1回PTA広報委員会を開催し、体験講座で実施内容の候補を決定
 6月13日(火)：1・2年生の広報委員で試作体験会を開催し、実施内容を決定
 (昨年通りの「沙カ」づくり、プレスレットづくりとレジによる小物づくりを行うことに)
 7月1日(土)：広報委員と他の委員会の委員も参加して試作体験会を実施
 8月4日(金)：7月1日に参加できなかった委員も参加し、試作体験会を実施
 8月20日(日)：全学年の広報委員を対象に役割分担等の説明や飾りつけの作成、ビースの袋入れ等事前準備
 9月4日(月)：広報委員長と副委員長が学校に行き、体験講座のポスターを掲示
 9月6日(水)：午後1時に常任理事3名が学校に行き、校内に食品バザーのポスターを掲示
 9月13日(水)：当日、午前8時30分に集合。部屋の飾りつけなど最終準備を行い9時から講座開催。
 食品バザー9時30分開始。13時半講座終了。後片付け、教室復元。

3 会場

3L レジ小物づくり	3K ミサンガ、プレスレットづくり	4K 食品バザー
3階廊下	受付	4階廊下

4 活動の様子(写真)



ミサンガづくり体験の受付をしているところです。何色の糸にするか保護者の方が生徒に選ばせています。教室や廊下に、折り紙できれいに飾り付けを行いました。



こちらは、レジによる小物づくりをしているところです。昨年までのキーホルダーやイヤリングに加えて今年度はネックレスをメインに自分たちの好みに合わせて作っていました。



食品バザー「TOYOCAFE」にて、シフォンケーキや飲み物が振舞われました。

5 まとめ

豊明高校のPTA広報委員会は、コロナ禍以前は学校の文化祭に合わせてPTA体験講座の他に、PTA校内研修やPTAバザー、制限リサイクルを行っており、多忙な活動状況でした。コロナ禍を機に活動の見直しを行い、無理なくできるようなスタイルを模索しているところです。今回は昨年に引き続きの文化祭出展で、昨年度の引継ぎを受けてスムーズに開催することができました。委員一同協力して、当日は他の委員会からもご参加いただき、昨年度を超える大盛況となりました。また、4年ぶりに開催した食品バザーについても、ノウハウのない中、常任理事同士で話し合い、大きなトラブルもなく、無事開催することができました。文化祭当日は、われわれ保護者も、我が子以外の高校生と接することで、とても充実した時間を過ごすことができました。

この経験を来年度以降にも生かせるよう、委員一同これからも保護者同士の横のつながりと学校の教職員の方々、子どもとのつながりを大切に、PTA活動を活性化していきたいと考えています。

PTA活動紹介		高P連受付番号	2 - 5
PTA（学校）名	愛知県立横須賀高等学校	部門No.	2
活動テーマ	生徒も Pも みんなで楽しく 学校祭		
キーワード	安全 低予算 みんなが楽しい		
開催日	令和5年9月		
場所	校内 普通教室内		
時間	9：30-14：30		
参加者	生徒・教師・PTA役員・理事（生活委員）		
趣旨	お菓子のつかみ取り つかんだ分を計量して下一桁が0でピタリ賞		
活動ポイント	コロナ禍でも安全に実施できて、食品衛生的にも安全、かつ、天候に左右されない企画		
主体委員会名・講師名等	生活委員		

- 1 受付
100円／1回 手指の消毒 ビニル袋1枚配布
- 2 注意事項等の説明等
つかみ取りまで並んでいる間に 注意事項等 を説明
- 3 つかみ取り
1で配布のビニル袋を手に被せ、箱からお菓子をつかみ取る
- 4 計量
3のビニル袋を反転して、つかんたお菓子を入れて、計量
- 5 ぴたり賞
計量値の下一桁が0ならピタリ賞で、景品かもう1回券GET



PTA活動紹介		高P連受付番号	2-6
P T A (学校)名	愛知県立三谷水産高等学校		2 ノンジャンル 部門No. 研修会・保護者交流
活動テーマ	令和5年度 愛知県立三谷水産高等学校PTA幹事研修旅行の実施について ～知ろう！県内唯一の水産学校で学び活かせる貴重な職業の中身へ！～		
キーワード	水産業や海洋関連産業	海・船(船員)・魚	実践的かつ体験的な学習活動
開催日	令和5年7月28日(金)		
場所	伊勢志摩方面(伊勢神宮、鳥羽水族館、伊勢湾フェリー株式会社)		
時間	午前8時00分から午後7時00分まで		
参加者	PTA役員16名、教職員7名、計23名の参加		
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> 水産業や海洋関連産業を見て、聞いて、体験することで三谷水産高校が行う学習がいかにして、水産業や海洋関連産業に活かされているかを知っていただくことをねらいとしている。 船に乗船し、普段では見れない貴重な場所での体験を通して、実践的かつ体験的な学習活動から、船乗りの仕事内容を知っていただくことをねらいとしている。 県内唯一の水産学校で学び活かせる職業についてあらゆる見学場所を通して紹介し、どのような仕事をしているかを知っていただくことをねらいとしている。 		
活動ポイント	実際に伊勢神宮参拝、鳥羽水族館での魚等の見学を行う。特に大きなポイントは船に乗船し、普段では絶対に見れない船を運転する場所に入れるところです！そこでは、実際に勤務する船員さんの仕事を見ることが出来ます！		
主体委員会名 ・ 講師名	主体：愛知県立三谷水産高等学校PTA 講師：伊勢湾フェリー株式会社船員様		
1 概要			
(1) 7月28日(金)について、趣旨及びPTA役員へ体験していただきたい内容を伝え、複数の研修内容を企画、立案をする。			
(2) 企画内容で留意したのは研修旅行の位置付けと目的の明確化である。旅行会社と打ち合わせを行い、内容が濃く、今後のPTA活動に繋げられる内容になる仕掛けもできるように依頼する。			
(3) 船船会社(伊勢湾フェリー株式会社)については、船を運転する場所での乗組員の姿とあらゆる機械の説明や揺れの体験など多くの体験をPTA役員の方々ができるように依頼をする。			
(4) PTA役員同士の交流を兼ねているため、バスの移動等において全ての席は指定席ではなく、自由に多様な柔軟性をもった交流になるよう、各PTA役員に周知をする。			
(5) 行程にない予定についても、現地で対応できる範囲を盛り込み、実践できるように仕掛けをしている。			
2 開催までの準備			
日程	活動内容	PTA参加者	
6月13日(火)	・第2回PTA運営委員会。研修内容について先行、目的等について、香澤より方針を周知する。 ・船会社には総務部主任より連絡をする。	第2回PTA運営委員会参加者38名	
7月1日(土)から 7月24日(月)	・主に電子媒体で行程や内容についての打ち合わせを行う。	総務部主任	
7月10日(月)	三谷水産高校運営委員会で本行事の件を総務部より発出、協議をした。	総務部主任	
7月11日(火)	三谷水産高校職員会で本行事の件を総務部より発出、審議をした。	総務部主任	
7月12日(水)	参加者分及び、校内用、予備と実施要項を印刷した。	総務部	
7月25日(火)	・伊勢湾フェリー株式会社と最終打ち合わせ ・旅行会社と最終打ち合わせ、チケットの受け取り	総務部主任	
7月29日(土)	旅行会社へ7月28日(金)の報告	総務部主任	
3 令和5年度 愛知県立三谷水産高等学校PTA幹事研修旅行の実施について ～知ろう！県内唯一の水産学校で学び活かせる貴重な職業の中身へ！～			
開催時間	開催場所	PTA交流	開催状況
出発前	三谷水産高校		・旅行会社、バス運転手様と本日の日程についてのミーティングを行う。各所の交通渋滞やトイレ休憩等の確認を主に行った。 ・バスガイド不在の為、総務部主任によるアテンドになることを全体へ周知。
11:00～13:30	伊勢神宮	お昼休憩をしながら、各学年毎や参加教員との交流を兼ねる。	・総務部主任からのリクエストで松坂牛を昼食にお願いをしていたが、実際は全くの別メニューが用意されており、ビックリ仰天！集金した中から総務部主任より、参加者へ1,000円の返金を行う。 ・通り雨がある中、参加者はおかげ横丁や参拝を時間がある中で行うことができた。
14:00～15:30	鳥羽水族館	各自、水族館内を自由に見学。それぞれの情報交換を兼ねて、進路に結びつける内容にした。	本校に所属する職員が大学時代に研究していた生き物の紹介と本校で学び進路にどのように役立つかを現場でPTA役員同士で話し合いをした。
16:30～17:30	伊勢湾フェリー	船に乗船し客席から船内の操縦場所へ案内し体験する。	・離着岸見学、船の操縦場所見学を実施。船の操縦場所では海図や操縦装置、無線で他船を呼んでいたいたり実際の職体験をすることができた。さらに、意図的に船を揺らして、「船の揺れ」を体験をした。

4 活動の様子(写真)

本日の日程！！

無理のない日程ですが、夏の開催ですので、急な天候が不安・・・
その不安がまさに的中しましたが、何とか一日を無事に？過ごせました。

お昼休憩時

1年生から3年生が自由席に座り、それぞれの情報交換などを行いました。ただ、残念なのが松坂牛でなかったこと、この後の豪雨でした。

今回乗船する船舶です！！

船の情報
総トン数：2,331トン
旅客定員：500人
主 機：1,499kw2機

三重県鳥羽港から愛知県伊良湖港を結んでいます！！

航海士からの御講義

航海士の方より船の構造や船長への登用の仕方を教わりました。本校は航海士になる学科のあることからとても興味深い内容となりました。

最新のレーダー(航海計器)

最新のレーダー(航海計器)です。航海士の方が実際に操作下さり、PTAの方々も熱心に聞いておりました。

海図の説明

海図を使って説明していただきました。愛知県や三重県にある島々を見て、「あっ！この島行ったことがある！」等の声が多く上がりとても良い雰囲気でした。

まとめ

今回は、全体を通して、「水産業や海洋関連産業、海・船(船員)・魚、実践的かつ体験的な学習活動」をキーワードに事前に目的と学ぶ内容を明確にしました。本校で学んだことがどのような仕事先に直結するのかを体験することができました。さらに、船舶については船を操縦する普段では見れない場所を見学しました。数多くの見慣れない機械を目の当たりにし、改めて三谷水産高校の学びは、重要で貴重な内容であることを再認識する場でもありました。

本校は県内で唯一の水産学校であることがどのような意味をして、産業界にどのような影響をしているのかをこれからも、PTAと学校が連携して、もっと盛り上げたいと思いました。今後も、海・船・魚に因んだ内容にこれからもしていきたいです。

最後に！

これからも学校を盛り上げていくのにPTAの存在は欠かせないです。

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-7
PTA(学校)名	愛知県立小牧南高等学校		部門No. 2
活動テーマ	牧南祭PTA企画		
キーワード	フードロス削減	保護者、生徒、職員交流	地域連携
開催日	2023/9/7~2023/9/9		
場所	愛知県立小牧南高等学校 1F調理室/1F中庭		
時間	10:00-14:00		
参加者	PTA29名、生徒・保護者・教職員計200名		
趣旨	<p>コロナ禍を受け、本校では学園祭における生徒の食品バザーを停止している。そのため学園祭においてPTAで食品を用意するだけでなく、キッチンカーの誘致も実施することで、生徒に学園祭を飲食の面からも楽しんでもらえるように、様々な食品が購入できるよう手配した。さらに従来から行っている保護者向けのカフェスペースも実施した。また近年SDGsへの取り組みが盛んになっていることを受け、フードロス削減の取り組みを並行して行った。小牧市は桃の産地である。傷などで廃棄予定だった市内産の桃を無償提供してもらい、PTAにてジュースに加工。本校文化祭で生徒、教職員、保護者へ販売した。</p>		
活動ポイント	<p>PTAによる複数種の飲食を提供した。 容器資材代(カップ、ストロー)のみ徴収とし、商品開発を行った。 市井の類似品の原価率などを参考に価格設定した。</p>		
主体委員会名・講師名等	愛知県立小牧南高等学校PTA		
開催までの準備 以下、フードロス削減の取り組みである桃ジュースに関する活動内容を記述する。			
日程	活動内容		
7/9(日)	(試作)桃を砂糖で煮詰め、ジャム状にする。当初は別日提供のカキ氷用シロップにも使用するつもりだったため、提供商品に合わせて希釈する予定だった。		
7/16(日)	(試食)カキ氷とジャムが口の中でそれぞれ主張するため、またこれ以上の希釈は果実感がなくなりせっかくの旨味を出しきれないと判断、カキ氷シロップを断念しジュースのみ提供へシフトチェンジ		
7/30(日)	桃ジャムを凍らせ、ソーダ水またはアイスティー等で、購入者に溶かしながら飲んでもらうのはどうかと発案。		
8/5(日)	(試飲)市販の清涼飲料水に桃ジャムを入れた結果、果肉がしっかりしすぎてストローで吸えないと判明。ミキサーにかけることにし、また清涼飲料水を入れただけでは甘味が足りないためシロップ等追加を検討。		
8/15(火)	(試作)シロップ、ジャムを水で攪拌したもので方向づける。		
8/20(日)	いただいた桃の数量から食数150杯程度と決定。		
8/27(日)	原価費用再算出。シロップは割高であること、また手に入り安さなどからカルピス原液と混ぜることにした。		
9月3日(日)	攪拌したジュースの元を全て凍らせる。		
9月8日(金)	凍らせたジュースを少量のシロップと水で攪拌、提供。		



PTAで提供したバウムクーヘンとチュロス



PTAによるかき氷の提供



フードロス削減としても取り組んだ桃ジュース



保護者用休憩スペース・飲食提供の「P'sカフェ」



このほか、ココ老番屋カレーのキッチンカーを誘致した。

PTA活動紹介			高P連受付番号	2-8	令和5年度PTA研修会 体験内容				
PTA(学校)名	愛知県立愛知総合工科高等学校		部門No.	2	学科	テーマ	説明	イメージ写真	募集人数
活動テーマ	子どもたちの実習を体験してみよう！ ～子どもたちは日々どんな環境で学習をしているの？工科高校の施設ってすごい！～				理工科1	トンボ玉	実験用バーナーを利用して、ガラス細工でトンボ玉を作ります。		10
キーワード	①愛総工オリジナル	②子どもたちの学びを探究	③PTA同士、先生との交流		理工科2	ハンドクリーム	ホホバオイルと天然香料を調合して、オリジナルハンドクリームを作ります。		10
開催日	令和5年11月24日(金)				機械系	ロボットによる自動搬送	アームロボットやベルトコンベアを動かすプログラムを作り、ピタゴラススイッチのようにゴールを目指します。		10
場所	愛知県立愛知総合工科高等学校 視聴覚室及び各学科実習室				電気系	フットライト	電気工事で使用する材料で足元灯(フットライト)を作ります。		10
時間	午後2時から午後4時まで				建設	住宅設計	平屋建て住宅を設計します。3D・CADを使って内観、外観を立体で表現します。		10
参加者	1テーマ10名(6テーマ合計60名)、各講座の担当教員12名程度				デザイン工学	お猪口づくり	「玉作り」という技法を使って、土でお猪口を作ります。後日、焼成も行います。		10
趣旨等	<p>高校生になると友達の幅が広がり、行動範囲も広がります。何気ない日常の中で、子どもは思春期で親との距離ができ、親としては少し寂しさを感じる場合があります。今まで目が届いていた世界が知らない世界になる。工科高校の実習もその一つです。一般的な授業は何となくイメージできますが、専門的な実習はイメージがしにくいものです。更に学校の話をしてくれなくなると今何を学びどんなことをしているのか、知らないことばかりです。今回先生方の協力もあり、昨年同様6つの講座を開催することができます。親にとっては今まで見たことのない子どもの世界を体験する機会となります。そのような興味もあってか、今年も全講座、満席と言う嬉しい結果となっています。</p> <p>講座を選ぶ際も、自分の子どもの学科の講座を体験する方が多いようです。昨年開催された際、私も我が子の学科を体験しました。初めて工業実習の先生と向き合い、説明を聞く。「子どもたちはこんなことを学んでいるのか」、「危険を伴う作業は先生の迫力もすごいな」など、いろいろ感じながら実際に手を動かしていきます。同じ体験をする周りの方との交流もよい時間になります。学校に行く機会が少なくなり、他の方と話をすることが少なくなるため、同じ学科にいる保護者と話をするよい機会となりました。自宅に帰ってからも子どもと共通の話題で話をすることができました。この体験を通して、子どもと時間を共有することができ、新しい保護者との交流、実際の体験を通して難しさも知ることができました。</p> <p>今年も多くの方の参加により、より豊かな学びと交流、共有する時間をもつことができます。この企画を通して今まで関わりのなかった先生方と話す機会をもつことができます。</p>								
活動ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ①愛知総合工科高等学校ならではのオリジナル研修内容 ②子どもが日々使用する実習室で実際に作業を体験し工業高校の施設を探究 ③子ども達の担当教員から直に実習を学べる ④PTA会員同士、先生方との交流 ⑤子どもの学んでいることを実際に体験し、子どもを尊敬できる 								
主体委員会名・講師名等	愛知県立愛知総合工科高等学校PTA研修部が主体 講師は同校の理工科、機械系学科、電気系学科、建設科、デザイン工学科の教員								
活動の流れ	<p>7月12日 第1回研修部会開催(研修会までのスケジュール設定)</p> <p>8月31日 研修部内の意見交換をメールやLINEで行い、研修テーマと募集人数を決定</p> <p>9月15日 研修会案内文書を生徒へ配布</p> <p>9月19日 きずなネットへ告知</p> <p>9月20日 学校ホームページへ掲載</p> <p>10月3日 第2回研修部会開催 ①定員を超えた応募があったため参加者の抽選を行い、増員可能なテーマの講師となる先生に依頼し、希望者全員が参加できるように配慮 ②参加テーマ決定の通知作成と送達を手配</p> <p>10月5日 学校ホームページへ応募のお礼と実際に体験してもらったテーマを通知する旨を掲載</p>				<p>【これまでの研修会の様子】</p>           <p>図1 ロボットによる自動搬送(図3)</p> <p>図2 トンボ玉づくり</p> <p>図3</p> <p>図4 テーブルタップと3路スイッチ回路の製作(図5、図6)</p> <p>図5</p> <p>図6 アイテムスタン</p> <p>図7</p> <p>図8</p>				

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-9
PTA(学校)名	愛知県立南陽高等学校	部門No.	2
活動テーマ	想いがつながる 未来へつながる ～私たちの持続可能なPTA活動～		
キーワード	持続可能なPTA活動	部活動や生徒会との協働	チームで楽しむ
開催日	令和5年度学校行事において		
場所	愛知県立南陽高等学校		
時間	各行事の時間による		
参加者	PTA役員理事20名 教職員10名 生徒会生徒7名 部活動生徒7名		
趣 旨	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度のテーマは、「新しい挑戦」。コロナ禍前と同じ活動に戻すのではなく、新しい時代にあわせてアップデートしている。 ・PTAが主体となり、教職員と連携しながら、子どもたちと一緒に時間を共有し活動することに重点を置き、新たな取組を複数企画し、実践した。 ・保護者の想い、子どもたちの想い、教職員の想いがつなぎ、子どもたちが笑顔で楽しく学校生活を送れるよう、尽力している。 ・PTAの参加機会を増やし、自身が所属する委員会活動にとらわれず気軽に参加できるようにし、皆と一緒に楽しむ持続可能なPTA活動に取り組んでいる。 		
活動ポイント	学校行事への参加、部活動との連携（南陽地区の企業、農家との連携） PTA役員理事を中心として、他校の文化祭の視察 人権LTへの参加（今年初）		
主体委員会名・講師名等	南陽高校PTA 生徒会役員 部活動（Nanyo Company部） 協力企業：JAなごや南陽町支店 名古屋みなと農園 HOURS CAFÉ 司雀		

1. 概要
- (1) 昨年度、創立50周年記念式典において、教職員と協働し記念動画を作成。（初）
 - (2) 部活動Nanyo Company部との連携開始 消費者としての助言担当として活動に協力。（初）
 - (3) 高P連クロスワードパズルの景品に採用される。（初）
 - (4) 文化祭にて、本校が長年お世話になっている購買と連携しランチセットを企画実施。（初）PTA模擬店として、今年度コイン落としゲームを実施。
 - (5) 体育祭では、スポーツドリンクの給水活動を実施。部活動対抗リレーでは、Nanyo Company部を応援。（初）名古屋マスコットキャラクターはち丸くんの手配、準備、登場に携わる。
 - (6) 0の日交通安全指導では、積極的に地域の交通安全指導の実施。
 - (7) 本校生徒が出店するイオン名古屋茶屋様で行われた食フェスタの応援。
 - (8) 愛知県立旭陵高等学校の文化祭視察。（初）
 - (9) 人権LTに参加（初）PTAとして「思いやり言葉」の募集。（初）12月18日（月）には、生徒会役員とNanyo Company部と教員と一緒に選別を行う。人権擁護委員の方々に協力をいただき、粗品を提供してもらう。3学期始業式にて選定された生徒の紹介・表彰を行う。

2. 活動の様子（作品・写真）
（創立50周年記念動画）



〈Nanyo Company部との連携〉 スコーンの大きさを食べやすい一口サイズにと提案



〈クロスワードパズルの景品に採用 大村知事・飯田教育長にもご試食いただく〉



〈文化祭 ランチセット販売とコイン落としゲーム〉



〈体育祭 給水活動とNanyo Company部と部活動対抗リレー〉



〈0の日交通安全指導〉



〈食フェスタの応援〉



〈人権LTへの参加〉



〈旭陵高校への文化祭視察〉



3. まとめ

PTAと教職員が気軽に連携できる環境のもと、子どもたちが楽しむ姿に元気づけられながら、PTAが主体となり一つ一つの活動を企画し形にしたことで、PTA活動が充実し、PTAの団結力が高まった。Nanyo Company部との協働により、PTAもフェアトレードのことや地域の農業が盛んなこと、商品開発の取り組み方を学ぶことができた。それを生かし、来年度はPTAとしてSDGs、エシカル消費の視点を組み入れて活動していきたい。今年度は挑戦の年、来年度は実践の年である。「想いがつながる 未来へつながる～わたしたちの持続可能なPTA活動～」をこれからも掲げ、PTAの自己満足に終わるのではなく、生徒のため、南陽高校の活性化のために保護者と教職員が協力していきたい。

PTA活動紹介		高P連受付番号	2-10						
PTA(学校)名	愛知県立豊橋工科高等学校	部門	ノンジャンル						
活動テーマ	生徒・保護者が安心できる学校づくり								
キーワード	安心	情報共有	環境整備						
開催日	①令和5年11月16日(木) ②令和5年12月1日(金)								
場所	①、②ともに、本校								
時間	①13:00~15:00 ②11:30~12:30								
参加者	①保護者95名 ②有志生徒120名+保護者9名								
趣旨	①工科高校の生徒がどのような専門知識・技術を学んでいるのかを実際に見学することにより、家庭において進路を中心とした話題作りになると考え、授業参観を企画した。また、授業参観と合わせて校内巡視を行い、生徒が安心して授業を受けられる環境であるか確認する機会とした。 ②校内清掃活動を通して生徒・教員と同じ時間を共有することで、学校の雰囲気を知る機会とするだけでなく、さまざまな情報共有をする機会とした。								
活動ポイント	学校の雰囲気を知る機会を増やすことで、生徒・保護者が安心できる学校づくりを目指すことや、学校評価委員会の活動をより活性化できると考えた。								
主体委員会名・講師名等	PTA役員、委員								
<p>①PTA主催授業参観</p> <p>PTA役員・委員と比べて一般の保護者の方は学校と関わる機会が多いため、より多くの方に学校の雰囲気や授業の様子を知ってもらおう機会として授業参観を企画した。また、授業参観とともに校内巡視を行い、アンケートで環境整備についての意見集約を行った。</p> <p>(1)活動の流れ</p> <table border="0"> <tr> <td>8~9月</td> <td>企画</td> </tr> <tr> <td>10月12日(木)</td> <td>第2回PTA委員会 当日の運営にご協力いただける方を募集 委員3名の参加申し込みがあった</td> </tr> <tr> <td>11月16日(木)</td> <td>13:00~ 受付 13:20~ 5時間目参観 14:15~ 6時間目参観 15:00~ アンケート</td> </tr> </table> <p>(2)活動のポイント</p> <p>先生方の業務負担とならないように、できる限りPTAで企画・運営を行えるように工夫した。具体的には、公共交通機関での来校を促すことと、Google Formsを活用して出欠管理を行ったことである。また、実習を行っている場所での見学では、安全面を考慮して見学エリアを制限したり、教員の引率により見学を行うこととした。</p>				8~9月	企画	10月12日(木)	第2回PTA委員会 当日の運営にご協力いただける方を募集 委員3名の参加申し込みがあった	11月16日(木)	13:00~ 受付 13:20~ 5時間目参観 14:15~ 6時間目参観 15:00~ アンケート
8~9月	企画								
10月12日(木)	第2回PTA委員会 当日の運営にご協力いただける方を募集 委員3名の参加申し込みがあった								
11月16日(木)	13:00~ 受付 13:20~ 5時間目参観 14:15~ 6時間目参観 15:00~ アンケート								
<p>(3)結果と反省</p> <p>85名の事前申し込みがあり、うち4名は欠席された。当日受付は14名あり、合計で95名の保護者が参加された。事後アンケートでは、多くの保護者の方から高い評価を得ることができた。以下にアンケート内容の一部を示す。</p> <p>高評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段では見ることのできない学習に向かう姿や、作業服姿で実習を行う姿を見ることができて嬉しかった。 ・中学校が最後の参観の機会だと思っていたので、高校でも参観できて嬉しかった。 ・先生方が親切に対応してくださり、授業内容も丁寧でわかりやすいと感じた。 <p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出欠管理における手間を省くためにGoogle Formsを活用したが、慣れない作業でうまく申し込みができなかった方がいた。そのため、当日受付をする保護者の方が多くなり、名札作成や案内に追われて慌ただしくなる場面があった。 ・実習を見学する班は教員の引率のもとに行ったが、時間にゆとりを持って見学するために、見学ルートの見直しが必要だと感じた。 <p>②冬の特別清掃</p> <p>第1回PTA委員会や授業参観と合わせて校内巡視を実施したところ、校内の清掃状況について回答される方が数名いた。環境整備として保護者も協力できないか検討したところ、生徒会主催の特別清掃への参加を提案していただいた。考査最終日に行われる特別清掃では、有志の生徒約120名と教員とが協力して、落ち葉集めを中心とした清掃活動を行う。この企画に保護者も参加し、校内の環境整備を共に実施した。</p> <p>(1)活動の流れ</p> <table border="0"> <tr> <td>10月~11月</td> <td>趣旨説明・出欠案内</td> </tr> <tr> <td>12月1日(金)</td> <td>11:20~ 集合 11:30~ 清掃活動 12:30~ 片付け・解散</td> </tr> </table>  <p>(2)結果と反省</p> <p>役員・委員のみに出欠案内を行い、役員6名と委員3名の合計9名が参加された。以下にアンケートの一部を示す。</p> <p>高評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が楽しみながら清掃する姿を見て、保護者も楽しんで清掃活動を行うことができた。 ・ボランティア活動は好きなので、こういった企画があればまた参加したい。 ・生徒や教員との会話を楽しみながら活動を行うことができ、楽しかった。 <p>反省点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内が広く樹木も多いので、1時間では集めきれなかった。 <p>まとめ</p> <p>PTA活動の新たな企画として、授業参観と清掃活動への参加を行った。2つの企画を通して感じたことは、生徒や教員が活動する姿を実際に見たり、共に体験することにより、保護者の安心感が高まることわかった。今後もPTAと学校が協力し、生徒・保護者が安心できる学校づくりを推進していきたい。</p>				10月~11月	趣旨説明・出欠案内	12月1日(金)	11:20~ 集合 11:30~ 清掃活動 12:30~ 片付け・解散		
10月~11月	趣旨説明・出欠案内								
12月1日(金)	11:20~ 集合 11:30~ 清掃活動 12:30~ 片付け・解散								
		メール送信先	info@aichikoupren.org						